

金属腐食のメカニズムと防食技術・トラブル対策

鋼・ステンレス・非鉄金属，各種防食方法，腐食事例・対策，試験・調査・解析方法

日時
2019年 2月20日（水）
10：30～16：30

受講料

1名 45,000円 + 税
2名以上1名 42,000円 + 税
案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

POINT

- 金属の腐食の実際と試験方法、調査・解析方法の習得
- 鋼、ステンレス鋼の腐食理論と腐食形態および腐食試験方法、腐食調査方法、腐食解析方法
- 非鉄金属の腐食（銅、アルミ、チタンおよびそれらの合金）
- 防食方法と対策事例の習得
- 金属の防食方法：めっき、塗装とライニング、化成処理、溶射、防錆、電気防食、防食構造設計
- 各分野での腐食事例と対策：プラント、輸送機械、建設機械、電気製品、建設設備、土木設備の各分野

プログラム

講師 向原文典氏 向原技術士事務所代表 技術士（金属部門）
(元)川崎製鉄(株) 技術研究所、川鉄テクノリサーチ(株)

- 鋼・ステンレス鋼の腐食の基礎と鋼種による腐食対策
- 1. 腐食理論、腐食への環境影響因子（pH、溶存酸素、温度、湿度、塩類、流速）
- 2. 腐食形態（均一腐食、孔食、隙間腐食、粒界腐食、応力腐食割れ、水素脆化、腐食疲労、ガルバニック腐食、流動・摩擦腐食、微生物腐食、土壌腐食、通気差腐食、高温腐食）
- 非鉄金属の腐食の基礎と対策
- 1. 銅および合金 2. アルミニウムおよび合金 3. チタンおよび合金
- 金属の防食方法
- 1. めっき（亜鉛、アルミニウム、ガルファン、ガルバリウム、亜鉛アルミマグネシウム）
- 2. 塗装とライニング（一般塗装、電着塗装、樹脂ライニング、ガラスライニング）
- 3. 溶射（亜鉛、アルミニウム、亜鉛アルミ合金）
- 4. 化成処理（リン酸鉄、リン酸亜鉛、クロム酸化、ノンクロメート、陽極酸化）
- 5. 防錆（防錆油、防錆紙、腐食抑制剤）
- 6. 電気防食（流電陽極法、外部電流法）
- 7. 防食構造設計（ガルバニック腐食食、すきま腐食、流動・摩擦腐食、応力腐食割れの抑制設計）
- 各産業分野での腐食事例と対策
- 1. 化学プラント 2. 輸送機械（自動車車体、航空機車体、自動車熱交換器）
- 3. 建設機械 4. 家電や業務用電気製品（筐体、エアコン）
- 5. 建築設備（建屋配管、建屋）6. 土木設備（海洋・港湾構造物、海水熱交換器、橋梁）
- 腐食試験方法および腐食調査方法と解析方法
- 1. 腐食試験方法（複合サイクル試験、粒界腐食試験、隙間腐食試験、応力腐食試験など）
- 2. 腐食調査方法（環境分析、腐食生成物の分析、金属組織観察、腐食量測定、電気化学測定）
- 3. 腐食解析方法（統計的手法、腐食量）

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 金属腐食のメカニズムと防食技術・トラブル対策

セミナーコード

1101-190220

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。

2019/2/20 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課（正式名称）	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み

この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他